



# しらす



▲放牧された市浦牛

## 市浦牛 放牧

4月27日、28日の2日間村内の牧場に、市浦牛(黒毛和種)が放牧されました。

今回放牧された牛は117頭。

広い牧場に出された牛は、春を待ちわびていた様子で元気よく走り回っていました。

放牧された牛は、11月一杯放牧される予定になっています。

# 新一年生大集合



三浦 将希  
(歯医者さん)



柏谷 佳杜  
(役場職員)



長谷川 一秀  
(獣医さん)



小寺 志瑞也  
(プロ野球選手)

相内小学校

14人



平野 道子  
(看護婦さん)



大沢 藍加  
(パン屋さん)



大沢 純麗  
(看護婦さん)



山田 菜々子  
(自衛隊員)



秋田谷 李  
(花屋さん)



青坂 明日可  
(看護婦さん)



丸山 裕加  
(ケーキ屋さん)



佐々木 愛  
(ケーキ屋さん)



成田 香菜  
(ケーキ屋さん)



山田 日和  
(看護婦さん)

村内の各小学校に二十四人が仲間入り。将来どんな夢をえがいているのか子供たちに聞いてみました。



奈良 達也  
(大工さん)



本莊 啓  
(プロ野球選手)



保坂 優斗  
(パン屋さん)



新岡 大寿  
(自衛隊員)



新岡 嗣久  
(自衛隊員)

十三小学校

7人



新岡 志保  
(花屋さん)



松橋 僚汰  
(消防士自衛隊員)



成田 拓弥  
(イトヨーカードで働く)

脇元小学校

3人



相坂 麻妃  
(ケーキ屋さん)



小倉 朱里  
(クッキー屋さん)

# 市浦村の皆さんよろしくお願ひします。

今年度市浦村に赴任された先生方を紹介します。

- ①前任校 ②出身地
- ③担任学級 ④ひとこと

## 相内小学校



森山 和康

- ①五所川原市立栄小学校
- ②鈴ヶ沢町
- ③教頭

脳元小学校を転出して十四年、再び市浦村にやってきました。五所川原から通勤しておりましたが、延々と続く水田、岩木川、権現崎、十三湖、牧場と季節毎、時間毎、それぞれ変化していく風景が素晴らしい、しばらくなれて、今季節感を取り戻しています。

村内を歩いていますと、以前お世話になった方々に「しばらくです」と声をかけられ、うれ

しくなっています。明るく元気で素直な子どもたち八十二名と、やる気満々で楽しい雰囲気職員室、教育熱心で協力的な保護者のみなさんに囲まれ、四月早々楽しく仕事をしています。

来年度は村内の全小学校が統合。再来年からは新学習指導要領による新しい教育活動がスタート。大きな節目に相内小学校にやってきましたが、しっかりとしなければと少々緊張気味。楽しみもあります。ひとつは、新しくスタートする総合学習。市浦村は海・山・湖・川と自然環境に恵まれ、史跡も数多くあり、まさに総合学習の宝庫。どんな学習ができるのか、これからワタワタしています。次は、おもしろい市浦の給食をまた食べられること。もう一つは、もう二十歳に近づいていっているはずの教員たちや保護者のみなさんに会うこと……。

脳元小時代は、これまでの教職員生活の中で最も教頭になった時期です。新米教頭です。また、一から勉強させていただきました。よろしくご指導下さい。



中谷 卓生

- ①木造町立柴田小学校
- ②金木町
- ③教務主任

はじめまして、中谷と申します。縁があつてこの度市浦村にお世話になることになりました。市浦村は私にとって小さい頃から親しませていただいた土地であります。父に連れられて、初めてつりをしたのが小学三四年の頃。十三湖にかかつていた木の橋で、車が通るたびにゆれつつうららかに感じ、おっかなびっくりながらカレイが三匹つれたことに対し、ひどく感激した記憶があります。その後もしょっちゅう十三湖や長浜で夕日をみながらつりをしています。

市浦村の印象は教育にすばいぶん力を入れているということ。二十世紀の市浦村で、おつて立っつてきたののために、行政も全面的な協力を惜しまないということです。木材の柔らかな

をふんだんに活用している立派な校舎はもちろんですが、そこで学んでいる子どもたちの笑顔、子どもたちのために精一杯がんばります。よろしくお願ひします。



成田 彰子

- ①金木町立喜良市小学校
- ②五所川原市
- ③四年生

地吹雪で有名な金木町から来ました成田彰子（アヤコ）という者です。六年前までは脳元小学校におりましたので、二回めの市浦村勤務になります。車力村から通勤しています。道路も整備され、十三の部手前前の松林が、やすらぎの駐車帯なるものがあり、運転者にってはホッとする区間。おつとあぶない、スピードの出し過ぎに気を付けなくては……

相内小学校は、校舎がすくなく明るく教室からのながめもパツチリ。地域には古い歴史を感じさせる神社や伝統芸能がある一方で、子どもたちとふれあう学習ができるかもと考えています。元気のよい四年生十八人の担任に

なりました。今までは低学年が多かったの、勝手がわからず、子どもたちに教えられている私ですが、早く子どもたち、職員、地域の方々に慣れて自分なりにがんばっていきたいと思います。どうぞよろしく。



野上 真弓

- ①中里町立中里小学校
- ②中里町
- ③三年生

市浦村には我が子と一緒に何度か訪れたことがあります。「牛のお家」（トーサムグリーンパーク）へ滑り台を乗りに来ています。一度滑ったら三度はチャレンジしたくなる我が子はここが大好きです。それが終わると名物のソフトクリームを食べると楽しんでます。

次によく行く所は、「海賊船」（十三湖中の島）です。そこで限りなく疲れたまて遊んだ帰りは、車の中でよく眠ってくれます。我が家族は、レジャー施設のある市浦村が大好きです。最近帰宅時間が遅くなり、くねくねの山道を車で登って目に飛び

込んだのは、十三湖や田んぼの奥に広がる夜景でした。遠くスケッチのスキー場のライトも結構きれいに見えました。得した気分を味わいました。

私はまだほんの一部しか市浦のことは知りません。これからどんどん学んでいこうと思います。どうぞよろしくお願いします。



村上 聖子

- ①板柳町立小阿弥小学校
- ②板柳町
- ③あすなろ学級

市浦村で生活をするようになって半年が過ぎようとしています。勤務校である相内小学校にも少しずつ慣れてきて、毎日を楽しんで過ごしております。相内小学校には、人なつこくて親切な子供たちがたくさんいます。いつも明るい笑顔であいさつをしてくれるので、こちらもとてもいい気分になります。また、光がたくさん射し込んだ、ひばの木造の校舎も暖かい雰囲気です。設備の中で遊びと生活で暮らす子供たちは幸せですね。そ

んな子供たちを大切に支援してこられたのが、地域の方々で熱あふれる生活方です。

板柳町で生まれ育った私にとつて、慣れない地での生活は不安でした。しかし、今は市浦での生活も新鮮な刺激となり、私もまた子供たちのために力を尽くしたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

## 太田小学校



葛西 新一

- ①板柳町立板柳北小学校
- ②五所川原市
- ③教頭

市浦村への転任を聞かされたから、市浦村についていろいろ思いを巡らしたけれど知っていることは、最近全国的に脚光を浴びている十三湊の発掘調査くらいしかなかった。

太田小学校に着任して二週間ほどになるが、子供たちの礼儀正しさ、素直さ、勤労意欲の旺盛さに驚かされた。これも地域住民が学校教育に対する理解・

支援も然ることながら、家庭でのしつけがしっかりしているからだと思像できる。

後一年で閉校になるのは寂しい気持ちもありますが、温かみを感じてヒバ材作りが、温かみという人間的に温かみのある、そして積極性のある子供の成長の手助けに精一杯頑張っていこうと考えています。



中谷 あさ子

- ①木造町立栗田小学校
- ②弘前市
- ③二、三年生

まだ着任して何日もたちませんが、学区の保護者の方や住宅近辺の住民の方々など市浦に住む人達の心の温かさにたくさん感じる事ができ、市浦村のよさを感じています。力不足ではありますが、市浦の子ども達のために精一杯がんばりたいと思います。太田小学校では、二、三年生の子ども達四名と毎日通っています。みんな素直で人なつこい子ども達です。ひばの木をふんだんに使って作られた立派な校舎でかわいい子ども達に囲まれて過ごせることを、

とてもラッキーだなと感じています。統合までの一年間というのが残念ですが、太田小学校でできる限りの事をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

## 脇元小学校



會津 梨絵

- ①五所川原市立栗栄小学校
- ②単力村
- ③四、五年生

希望していた市浦村に異動。脇元の方々と最初に接触したのは歓迎会。遅れて参加したため、もう上がっている所におじやまし、「いい雰囲気だなあ」と思っていたら、まだまだ上りがついている途中で未完成だとのこと。これから楽しい日々が待っているのだなあと思いつつ、とても気さくな雰囲気、安心したのを覚えています。

子ども達と出会う二日目。笑顔のかわいい子ども達で、一遍に大好きになりました。昼休みに「ここから見ると景色、すんげく

きれいだんだ。先生はやくぐ!! とつれていかれたもや山の上。曇っていたのに、ものすごくきれいでした。「先生、一生忘れねべ。きれいだべ。」と言う子ども達。美しいのを美しいと感じる心を持っていて、感動!!

このような市浦の人々にかこまれて、私ももう一回り(どの部分?)成長しようと、はりきつていける所です。



秋田谷 麻子

- ①川内町立第一川内小学校
- ②浪岡町
- ③一、三年生

下北で教職に就くこと六年、ようやく津軽の地に帰ってきたことを嬉しく思います。海のない浪岡町で生まれ、下北では静かなもつ湾を眺めながら通勤していた私にとって、日本海の荒波には身を引きしめられるような迫力を感じています。ここ市浦村は夫の郷里であり、この度夫を亡くに残し、単身で赴任して来たのですが、そのさみしさをこの地は感じさせません。山、海に囲まれた住みよい村、木材で建てられた公共施設、そ



して、アサリのように大きなシジミ貝、驚くことばかりです。脇元小学校では、二・三年の担任をしていますが、子どもたちの素直さ、やさしさには本当に感心させられます。この出会いを大切に、市浦村の住民としてどんどんの村に届けようと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



葛西 沙織

①新採用

②中里町

③兼護助教諭

私は、小、中学校の時、市浦の海に泳ぎに来ていました。その時、子供ながらに自然がいっぱいあり、海もまたきれいだと思っていました。今、こうして、脇元小学校で働く事ができて、とても嬉しいのです。初めて接した児童も明るく、人なつこく、素直さが印象的で不安はありませんが、児童のみなさんが、りも体も健康で過ごしているように、少してお手伝いできたらいいなと思います。

いろいろな不安や戸惑いもあるりますが児童とともに成長したいこうと思っています。ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願いいたします。

十三小学校



斉藤恵美子

①木造町立向陽小学校

②桶垣村

③教頭

安東の里十三湊として、タラソテラビ施設建設による福祉文化の村づくり、セーフティ300事業による交通安全思想の普及など新聞やテレビで話題となる市浦村に赴任が決まり、教育を通してその一翼担いことに不安を感じました。しかし、躍進を続ける市浦村で仕事ができることに誇りを持ち頑張る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

十三に来た方には「十三の砂山踊り」を覚えて、子どもたちと和太鼓をやっていること、に欲張ってカヌーにも挑戦したい。夢がどんどん広がって若返

ったような気分です。児童数は少ないけど、子どもたちはいろいろなことに挑戦し、大きな学校の子どもたちよりも元気があり逞しく感じます。逞しさは挑戦であり、挑戦するには体力と知恵が必要である。だから普段から体力と知恵を磨く、これが十三っ子魂として伝統になつていることを聞き、私も子どもと一緒に何事にも挑戦していこうと考えています。

市浦の皆様、十三地区の皆様どうぞよろしくお願いいたします。



高橋 梓

①新採用

②柏村

③兼護助教諭

初めて「市浦の十三小学校」と聞いたら、「十二というぐらいだから十三湖の近辺にあるんだろか?」というのを漠然と思いついて、実際に十三小学校に来てみたら本当に十三湖のすぐ近くにあったのに驚き、さらに今年度で閉校するというのにも驚きます。そういう瞬間に立会えるのは、寂しいですが光栄に思います。私にとっては

「先生」として記念すべき第一号がこの十三小学校となりました。子供達はみんな元気いっぱい、そんな様子を見ていて、こちらまでも元気がわいてきます。不慣れな点も多いと思いますが、子供達・先生方・地域の皆様とともに一年間がんばりたいと思いますし、何事にもチャレンジしたいです。

市浦中学校



須藤 和稔

①小泊村立小泊中学校

②五所川原市

③一学年副担任

五所川原から十三湖まで約十五分、小泊から十湖まで約十五分、夜スズキ釣りに来ては帰るのが面倒くさかったです。それがこれからは往復約二分、いつでも好きな時に竿を振れるという幸せ者になってしまいました。しかも、私の嫁さんがトリスムのソフトクリームの大ファンなんです。ミルクたっぷりのソフトクリーム、本当におい

しいですよ。ちなみに私の娘はみるくといえます。そんなこともありまして、身近に感じていたこの市浦に住んで生活できることを嬉しく思っています。

心の素直な子供たちと、優しい村の人達に早くなじんで、これらががんばりたいと思います。家族共々、よろしく申し上げます。



番場 武明

①五所川原市立第二中学校

②鯉ヶ沢町

③二年A組

この度、市浦中学校にお世話になる番場です。市浦村は、自然豊かで古くからの歴史ある所です。また、人情が厚く、とても整備されているという印象を受けました。以前、私の恩師が次のようなことを話してくださいました。それは、「子どもたちがいるから学校があるんだ、学校があるから、子供がいるのではない。」という言葉でした。教育という仕事に就いて幾年か経ちますが、正にそのことを考えさせられる

仕事に就いて幾年か経ちますが、正にそのことを考えさせられる

毎日です。

学校は、地域・家庭に支えられて成り立っています。市浦村の「まちづくり、人づくり」に少しでも貢献したいと思えますので、市浦村のみならず、これからよろしくお願いします。目指すぞ「セーフティ300」!!

## 金木高等学校 相内分校



大村 裕雅

- ① 県立今別高等学校
- ② 大間町
- ③ 二学年

ここに生まるまで私は、市浦村についてあまり知りませんでした。が、先日、中の島付近を通る機会があり、その風景に良い印象を持ちました。夏場にゆつくり来てみたいと思わされるものでした。

またしじみ亭でしじみのチャウダーも食させていただきましたが、そのしじみの大きさに驚かされました。



中田 志保

- ① 県立戸山高等学校
- ② 弘前市
- ③ 二学年副担任

金木高等学校相内分校に勤務することになりました。中田志保です。担当教科は社会科です。昨年は青森市の戸山高等学校で働いていました。市浦村はとても景色のきれいな所で驚きました。市浦村での一年を楽しみたいと思います。

風景の良さと美味しいしじみの食べられる町、市浦。より深くこの町につきあってみよう。もっと良いものが発見できるのではないかと期待に胸がふくらんでいます。



中村 友是

- ① 県立三沢商業高等学校
- ② 弘前市
- ③ 三学年副担任

太平洋側の三沢市からはるばる日本海側のこの市浦村に参り

ました。市浦村に関しては、まだ詳しく知りませんが、遺跡に興味があるので十三湊遺跡を通して市浦村に対する知識をどんどん増やしていこうと思っています。また十三湖のしじみ等も大いに味わいたいと思っています。



田中ひとみ

- ① 県立八戸南高等学校
- ② 深浦町
- ③ 一、二学年、家庭科

はじめまして。相内分校に業務講師として来ることになりました。市浦は、空気もおいしい、水もおいしいので、とてもリラックスして過ごせると思っています。はやく学校にも慣れ、生徒とも仲良く交流をもちながら、授業をしていきたいと思っています。三人の子どもたちを妻に託し、単身市浦に参りまします。



北山 聡 さん

今年三月まで太田小学校(教頭)に勤務し、四月に黒石市立中郷小学校に転出した北山聡さんから「太田への賛歌」が届きましたのでご紹介いたします。

## 美しい自然に囲まれた 風の村 『太田への賛歌』

前太田小学校 北山 聡

「市浦村立太田小学校勤務を命じる。」平成九年三月三十一日、西北教育事務所の一室で、当時の田中輝男所長より辞令を受けました。

ここから私の新転地でのドラマが始まりました。私を迎えてくれた四月の十三湖は、土色に濁り、波立ち、強風が吹き荒れ、この地の自然条件の厳しさをいやという程、私にたたきつけてきました。南部の暖かい日差しと快い風が脳裏をかすめます。「とにかくがんばろう。前進あるのみ。」自分に言い聞かせて、新年度のスタートを切りました。不安と期待の交錯したあの時から早や三年。太田の村民であった私より、「太田への賛歌」をメールします。

**I 模式授業とは何ぞや**

東京都五年、東青十年、南部七年と流れ流れて、今度では西北です。千二百人のマンモス校を皮切りに、九百人、八百人、五百人へと大規模校が経験のない私でしたが、今度は一気に二十人の小規模(き)地校です。「未知との遭遇」とは正にこのことを言うのでしょう。

が、模式授業をかせたのが、模式授業でした。背中合わせに二つの授業が並行して進められる様に、自分の教師としての無学無知を思い知らされました。それも二十代の若い先生が、ガイドを巧みに活用し、ずらし、渡り、四十五分二つの授業を成立させているのです。多人数の子どもを相手に、一つの授業を成立させるために四苦八苦してきた私でした。これはショックでした。少人数とはいえ、

たいへん事だと感じました。

この世界には、いろいろな授業形態があるものだと、改めて再認識させられた私でした。

当然、校内研のテーマは、複式指導法です。

「如何に、へき地の子どもに、主体性と確かな学力をつけさせるのか。」この命題の、これでよいという答えはないのかもしれない。若い先生方のひたむきな姿勢や、さまざまな仮説を検証していく実践力には、ただただ頭が下がるばかりの私です。いつの間にか私も、複式指導法のおもしろさが少しは解ってきたこの頃です。個別指導のさまざまな工夫、一人一人に目を向けた、よりきめ細かな指導法等、この学校で新しく発見することができました。

### II 地域の方々とふれ合い

小さな集落のため、学校と地域とのつながりは密接です。子どもとの親は、全員がPTAの役員です。それで足りませんので、準会員（学校に目を向け、協力してくれる地域の方）を募集し、五十名程の組織でPTA活動が動いております。当然、家族のような関係で事が動きまわります。運動会や秋の振興祭（文化祭）も、地域と学校の融合し、行われます。

一例として、地域の伝統行事の「虫送り」(六月下旬実施)を紹介しましょう。

この日は、学校は、正に総合学習の時間になります。子どもと大人の太刀振り、おはやしも共に集落内を練り歩く荒馬が、後半、田んぼに入り暴れます。

そして、最後には、校長先生と私が田に引きずり込まれ、泥の洗礼を受けるのです。これで最後が納まるわけです。一年目は驚き逃げ回りましたが、二年目三年目となると、田に入らないで不思議です。村の人達からは、歓声と喝采が沸き起ります。



▲6月に行われる太田の虫送り

どの行事も最後には、楽しい懇親会がセットされています。地域の長老の方の昔の話は、私にとり興味を引く楽しいひとときになります。そして、二次会は、必ずといっていい程、私

の教員住宅が会場になり、夜が更けるのも忘れて、話に花が咲きます。

学校と地域、父母がつながり、教育活動が円滑に進められる秘訣は、このようなのではないか、とした交流が元になっているのかもしれない。

### III 変化に富んだ太田の四季

太田は風の村です。津軽半島を吹きぬげる風の通り道に位置しているからです。そして、太田の四季は変化に富んでいます。残雪が消え、春先の強風が弱まってくると、太田の丘は、一斉に若葉が芽吹き、全ての生き物が活動を始めます。田植えが始まる頃、どこからともなく、知っている人たちが連日のようにやってくる。太田の山は、山菜の宝庫なのです。私も地域の方々と、春の山の春を連日いただける幸せに浸ります。

運動会や虫送りが終わると、太田は一年の中でも最も美しい、住みよい季節を迎えます。気候が北海道に似ていて、弘前とは真夏で三、四度は違うようです。この涼しさが、太田の特産品を育てます。ハウス栽培のトマト、ネギは、味も良く、評判の高い農産物です。

秋の太田は、きのこの名産地に変身します。さまたし、なめ

こ、またたけし、どこにあるのかは地元の人には絶対に教えてはくれません。十月に入ると、美しい紅葉の山々彩りを失い、一気に淋しさが増えてきます。あんなににぎわっていた十三湖にも、観光客の姿がなくなり、名産の大きなタジミも、禁漁となり、食べられなくなりま

す。太田の山々が、白い色に変わる頃、厳しい太田の自然が私達を支配します。週末の弘前の往復は、時には一寸先も見えない見込み運転を強いってきます。板柳から南は、上から雪が降ってくるのに、そこから先の市浦までの道は、真横から猛烈な風と共に雪が吹きつけて、恐ろしい世界に変わります。南郡の雪が天国から降ってくる雪ならば、つけてくる雪は、正に地獄から吹きつけてくる雪にもあらず。

そんな中でも楽しめるようです。学校裏の牧場に雪が積ると、体育は、自然の丘でのスキー学習になります。学校付近の丘は全て授業会場です。一本滑ると、次の丘、雪だるまになる子、笑い声。自然の中で、たわむれる時間、夢の世界で学習しているような錯覚になります。自然がいっぱい、太田ならではの楽しい一コマです。

「春よ、早く来い。」と念じながら、寒い風雪の夜、一人住宅で夕食を食べる日々が、三月は続きます。

### IV 太田の子どもたちと共に

太田の子どもたちは、自然の子です。山に秘密の基地を作り、元気に走り回っています。素直な上に純粋で、驚く位働きたりばかりです。こんな子どもたちとの関わりの中で、ソフトバレーに熱中するようになりました。素直さが力となり、出場した各大会では、なんと九連続優勝を果たし、大きな自信をつけました。また、園工の授業や補教に行つた折に、指導した絵画でも、めきめき頭角を現し、今年は二つの全国展で、金賞と最優秀賞を受賞することができました。

小さな学校の子どもでも、やればできるということを、子どもたちも私も、身をもって体験することができました。

小さな太田の村にも、時代のうねりが押し寄せてきています。学校統合の話が進められていくものになるのかもしれない。しかし、私の心に刻まれた思い出は、決して消えることはないでしょう。そして、私のこれからの教育活動の支えの一つになるものと確信する今です。

## 赤信号では渡りません

### アトム保育園で交通安全指導

四月二十六日、アトム保育園で園児を対象に、交通安全指導が行われました。

この交通安全指導は、園児が交通事故にあわないようにと、毎年行われているものです。

この日は、保育園内に設置した信号機と横断歩道を使い水谷崇・相内駐在所長が指導にあたりました。水谷所長から「赤信号では、横断歩道を絶対渡って

はいけません。」と指導を受けると園児たちは元気な声で返事をし、信号機が青になるのを確認しながら、横断歩道を渡っていました。



▲信号が青になったら渡りましょう

## 年に一度の健康チェック

### 一日ドックで八百五十人が受診

四月三日から今年度の一日ドックが海洋センター体育館で行われ、胃、大腸、肺などの各種がん検診を村民八百五十人が受診、年一回の健康チェックを受けました。一日ドックはすべて

の健診が一日で受診できるところで、受診者にも好評。今年度も早朝から受付を待つ受診者の長い列が続いていました。最終日の健診では、食生活改善推進委員会（奈良）江会長



▲検査の順番を待つ受診者のみなさん

▶これから交通安全教室を始めます。



による恒例の朝食サーブスが行われ、受診を終えた方々に喜ばれていました。

▶最終日には、朝食サーブスが行われました。



## 国民年金コーナー

### 保険料の免除と追納

国民年金には、保険料を納めることが困難などのため

に保険料の免除を受けられる制度があります。免除には次の二つがあります。

#### 法定免除

一、障害基礎年金及び被用者年金の障害年金（一級・二級）の受給権者の方

二、生活保護法による生活扶助を受けている方

#### 申請免除

一、世帯全体の所得がない、もしくは一定の基準以下の方

二、保険料が納めることが困難な特別の理由（病気・失業・災害等）がある方

免除が承認されると、法定免除は事由がなくなるまで、申請免除はその年度の

末まで保険料が免除されます。

免除を受けた期間は、老齢基礎年金を受け取るための期間として算入されます。（ただし、免除の期間の年金額は、三分の一の金額となります。）

また、生活にゆとりができたときには、免除を受けた過去の期間の保険料を十年前までさかのぼって納めることができ（追納、納めた場合には免除のままより高い年金額を受けることができます）。

追納は十年以内の期間について必ず先に経過した月分から納めることになっています。また、二年を過ぎた期間については追納するときは、当時の保険料に一定の額を加算した額で納付します。

▼お問い合わせ 役場住民福祉課 ☎六二二二二二（内線三三）

# 入学式カメラ・ルポ

4月に市浦村管内で行われた入学式、入園式をカメラ・ルポで紹介します。



## 市浦 中学校

入学生 35人

▲市浦中学校には  
35人が入学



新入生一人  
ひとり名前を  
呼ばれました▶



## 相内 小学校

新入生 14人

▲1年生のトレード  
マーク黄色い帽子  
が贈られました



よろしく  
お願いします▶



## 金木高校 相内分校

入学生 11人

▲新入生を代表し  
て謝辞を述べる



新入生▶



## 十三 小学校

新入生 7人

▲新一年生  
元気に入場



上級生の歓迎を  
受けました▶



## アトム 保育園

新入園児 19人

▲新入園児一人ひと  
り紹介されました



元気いっぱいの  
アトム保育園▶



## 協元 小学校

新入生 3人

▲協元小には  
3人が入学



全校生徒が  
新入生を歓迎▶

## 消防団員が 一日消防士を体験

消防署では、消防職員と消防団員との相互の理解を深めるため、三月二十五日と二十六日に、一日消防士体験入署を実施しました。入署された団員は、市浦村消防団第二分団の成田常穂さんと、山田力也さんです。二十六日の二日目は各分団へ入団五年未満の消防団員と青森県消防操法大会出場選手推薦団員十五名が来署し、消防の基本である訓練札式等を消防職員から指導を受けました。今回、一日消防士体験入署した二人の感想文をご紹介します。

### 一日消防士を体験して

第二分団団員

成田 常穂



けた後、隊長からは市浦消防署のあゆみと組織についての話を聞きました。それから署内を見学し、担当職員から仮眠室で布団のたたみ方を教えてもらった。通信勤務の説明や、昨年設置されたというテレビ電話の説明を受けました。その後、救急の勉強をしようとした時、一九番通報があり救急担当者が救急出動しました。担当者が出動したので、他の職員から救急法の講義と実技の指導を受けました。

三月二十五日、十八時二十五分に署長から一日消防士の辞令を受け、二十六日までの消防士として行動を共にすることになりました。

最初に署長室で署長から二十日までの業務概要の説明を受けました。あついで勤務が終

わるときにまた電話が鳴り、仮眠室で休んでいる救急担当者を通信勤務者が起こし、救急出動しました。その後は仮眠に入りましたが夜中（時間不明）にまた救急出動がありました。そういうのを見て大変だなあと寝ながら思いました。

次の日、職員の仕事交代と車輛点検を聴いて見学した後、ロープ結索法を学びました。訓練札式は、コミュニケーションセンター（天候が悪いので）に行っても止間、行進間の動作の指導を十一時ごろまで受け、最後は放水訓練をして二日間の全日程を終了しました。

私は、夜中でもあんなふうに救急や、火災が発生すればすぐ出動しなければならない責任の大きい仕事だと思います。今回の体験で大変勉強になりました。ありがとうございました。これからも村民を守っていかたい。



### 一日消防士 体験前と体験後

第二分団団員

山田 力也



一日消防士体験で、体験する前と後では私の考えは一変しました。

まず最初、午後六時三十五分に署長から一日消防士の辞令を受けて、消防職員としての一日が始まりました。辞令を受けた後は、消防署の中に入り業務概要を聞き、消防署の隊編成や事務分掌を説明してもらいました。署員の各係での業務内容、各分野での仕事の多さに驚きました。

それから、市浦消防署の業務開始から今までの歴史を聞き、歴史の長さを感じました。一通り説明を受けた後は、署員の各係と名前を紹介してもらったり、通信勤務についての話を聞きました。

私のここまでの勤務内容はこ

んな感じでしたが、署員の方は救急の勉強会を行う直前に救急要請があり、救急担当者が救急出動していきました。

実際に出勤する所を見て、救急の要請や火事などは当然のことだけど、時間が決まって起こるものじゃない、しかし、いつ発生しても対応できる署員の迅速な行動には驚きました。今までも迅速だとは思っていたが、聞のあたりにして改めて実感しました。

朝になって八時四十分からは、ロープの結索法の時間になりました。結び方とその名称を教わりましたが、結構難しく種類もいろいろあったのでなかなか出来ませんでした。結び方によっての使い方などを学び勉強になりました。

九時三十分になってからは、札式の基礎訓練になり、さまざまな動作の正しい姿勢や動き方を習いました。

この一日消防士の体験を終えて、署員の皆さんには大変お世話になりました。外で見ると中では、全く違うという感じがしました。ありがとうございました。



# 健康増進施設について

## その八

今回は、海外での先進事例をご紹介します。  
ドイツの西北部に位置するノルディナイ島では、タラソテラピーを実践するセンターが四施設あり、毎年多くの利用客がこの島を訪れています。

小さな島に多くの目的客が訪れています。

ドイツにあるノルディナイ島は、人口およそ六四〇〇人が住む小さな島です。この島にはなんと毎年推定で、人口の四五〇倍の三〇〇万人の目的客（療患者）が訪れているのです。

# キンダークラウンケンハウス・シーホスピス（海の病院）

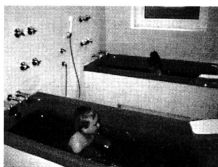
一八八六年に開設され、セラピー（治療）やりハビリテーションが行われています。

対象者は、ドイツ周辺の工業地帯のアレルギーおよび喘息の子供たちが中心です。



医師九名、入院患者数二四〇名で子供たちの両親も宿泊可能な施設です。また長期滞在者の対策として、センター内で地元の学校教師による教育制度も整っており、総合的に対応しています。

セラピーの対象はアレルギーなどが中心で、肺炎・小児喘息・アトピー性皮膚疾患・花粉症・かんせんです。海からの風や砂浜、そして運動施設やプールを有効に活用し



ながらのセラピーが実施されています。きれいで清浄な海風は、皮膚への保護的な役割と血行を促進する役割があります。

子供たちは、その症状に合わせたセラピー（治療）を、日常生活に支障なく受けることになりました。平均滞在期間は三、四週間程度です。



# クリニック

## ノルディナイ（州立）

海岸近くの町中に施設が設立されている公的な医学的リハビリテーション病院です。病院には、医師・心理療法者・介護者・理学療法士・スポーツ療法士・食生活の指導者などがチームを組み、セラピーにあたっています。



# またまた未知数のタラソテラピーの可能性

タラソテラピーは先進国であるフランスやドイツでは幅広い利用がされています。

今回ご紹介した治療の分野から日常の健康増進、そしてパカンス（休暇）中の余暇活動など、その可能性は大きく期待できると考えます。

# 十三湊幻奏伝説Ⅳ HIMEKAMI 2000

## 姫神・奥津軽十三湖コンサート開催!!

日本の風土に根ざした音楽活動を続けているシンセサイザー奏者「姫神」(本名 星吉昭)。

市浦村で4回目となるコンサートが7月15日、十三湖特設会場において開かれます。

「十三湊から遙かなる北方世界へ…」をテーマに音と光による幻想の世界がくりひろげられます。

村からは、創作太鼓「東日流衆」のみなさんが出演。姫神十三湖コンサートにぜひご来場ください。

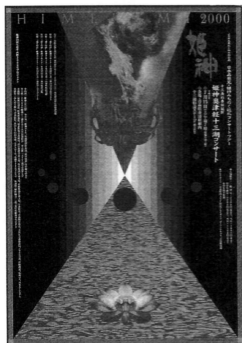
### 姫神コンサート実施要項

- ★と き：平成12年7月15日(土) 雨天決行  
開場午後5時・開演午後7時(予定)
- ★ところ：十三湖特設会場
- ★入場料：一般前売 2,500円(当日3,000円)  
中学生前売 1,000円(当日1,500円)  
※いずれも税込み

なお、村内1世帯につき1枚、コンサート優待券(1,500円)が発行されていますので、ご希望の方は「優待券引換券」を持参のうえ下記の引換場所にてお引換をお願いします。

【引換期間】 コンサート前日まで

【引換場所】 市浦村役場窓口もしくは、  
経済観光課・企画財政課まで



### ▶お問い合わせ

姫神・奥津軽十三湖コンサート実行委員会  
事務局：市浦村役場(経済観光課・企画財政課) ☎62-2111

## 消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

### 家庭での地震対策十カ条

阪神大震災や北海道南西沖地震、最近では台湾での地震など世界各地で頻りに地震が発生していて、地震はいつどこで起こるか分かりません。しかし、日頃からの備えがあれば、グラツときた時もあわてず身を守ることができます。家族みんな地震に備えておきましょう。

#### グラツときたら

①「すぐ火の始末」  
ガスの栓を止め、ストーブを消す。

②「あわてて外に飛び出さない」  
落下物や建物の倒壊があるため危険。

③「避難口を確保し安全な場所へ身を寄せる」  
戸を開け、丈夫な机の下やトイレなどへ。

④「火が出たら隣近所と協力して消火を」  
日頃から声をかけあっておく。

⑤「避難は徒歩で、持ち物は最小限に」  
大きな災害の場合は、地域で指定された避難場所へ。

#### 地震が起る前に

①「非常持出品を用意しておく」  
飲み水、食料、携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などをひとまとめに。

②「手近な所に防災用品」  
ヘルメット、厚手のスリッパなど。

③「消火用の水や消火器を備えておく」  
消火器の使い方にも慣れておく。

④「住まいの危険な箇所をチェックする」  
燃えやすい物、落下しやすい

物、倒れやすい物、老朽化した場所の点検と改善。

⑤「家族みんなで防災会議」  
各人の役割、避難場所・相互の連絡方法などについて話し合っておく。





市浦村の人口と世帯数 平成12.5.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,243	1,248	420
桂川	63	63	22
大田	262	262	87
藤元	509	509	193
磯松	306	305	108
十三	805	806	259
計	3,188	3,193	1,089

忘れてないでスポーツ安全保険

財団法人スポーツ安全協会  
平成12年度加入受付中

スポーツ安全保険は、グループの皆さんや、指導者の皆さんが安心して活動できる様に配慮された

**傷害保険** を組み合わせた  
**賠償保険** **総合補償制度**  
**共済見舞金** です。

「スポーツ安全保険」といってもスポーツ活動ばかりでなく、コーラス、料理教室などの文化活動も対象となります。

万が一の事故に備えて、ぜひご加入することをお勧めいたします。

◆保険期間

加入日～平成13年3月31日まで

◆掛金(1年)

中学生以下の団体 1人 450円  
老人クラブ等 1人 800円  
大人の団体 1人 1,400円

◆主な補償

入院1日 4,000円  
(老人クラブは1,800円)  
通院1日 1,500円  
(老人クラブは1,000円)  
死亡 2,000万円  
(老人クラブは500万円)

※上記の他、後遺障害、賠償責任保険、共済見舞金があります。

▶お問い合わせ

市浦村教育委員会生涯学習係  
☎62-3751 (担当奈良)

湾内航路乗り乗りキャンペーン

高速船「ほくと」  
フェリー「かもしか」  
「脇野沢レンタカー」  
を利用して、21市町村  
の特産品を当てよう!!

◆キャンペーン期間

平成12年5月20日(土)から  
平成12年7月20日(木)まで

◆応募方法

「ほくと」「かもしか」「脇野沢  
港レンタカー」の乗船券売場、窓  
口に置いてある応募専用紙に必  
ずスタンプを押し印応募して下  
さい。

応募専用紙は切手を貼って郵送す  
るか、乗船券売場窓口を設置の応募  
箱に投入して下さい。

◆抽選

応募者の中から抽選で100名の  
方に21市町村の特産品「津軽・下  
北お楽しみセット」5,000円相当  
が当たります。

◆発表

賞品の発送をもって代えさせて  
いただきます。

◆応募締切

平成12年7月20日(木)にて締め切  
ります。

▶お問い合わせ

むつ湾航路活性化推進会議  
事務局：青森県新幹線・交通政  
策課

☎017-734-9153

浅虫水族館からのお知らせ

入場料金を値下げしました

浅虫水族館では、多くの方々に  
利用いただけるよう、内容を充実  
させ、入場料金を大幅に値下げし  
ました。

【新料金】

	新料金	旧料金
一般	1,000円	1,580円
高校生	1,000円	1,250円
中学生	500円	730円
小学生	500円	510円
幼児 (3歳以上)	無料	100円
団体割引	10人以上 1割引	30人以上 1割引
	30人以上 2割引	100人以上 2割引
学校活動団体	5割引	3割引
駐車場使用料	無料	300円

※今年度から、プリペイドカード  
の発行もいたします。  
5,000円券 (5,500円相当)  
10,000円券 (11,500円相当)

▶お問い合わせ

浅虫水族館まで  
☎017-752-3377

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

	4月	累計	死者のうち 累計
発生	618件 (536)	2,747件 (2,529)	
死者	12人 (6)	40人 (27)	
傷者	760人 (639)	3,427人 (3,070)	
			シートベルト
			飲酒運転による死者
			高年齢者の死者
			自動車乗車中の死者 (着けなければならない人)
			非着用死者 (着けていなかった人)

( )内は前年。累計は1月から。

善意に感謝します

「のれ!それ!中里」実行委員会  
津軽活性フォーラム21

～10万円を寄附～

4月24日中里町で行ったオペ  
ラ歌手 小渡恵利子さん(青森県  
倉石村出身)のチャリティコンサ  
ート収益金の一部を村社会福祉  
協議会に寄附されました。  
ありがとうございます。

# 健康への道

No.136

## 予防接種を受けまじょう!!

主に予防接種の対象となる病気

ポリオ

小児マヒと呼ばれ、発熱があり、かぜのような症状が現れ、その後手足の麻痺をおこす病気。予防接種は六週間以上の間隔をあけて二回、ワクチンを飲んで接種する。

日本脳炎

ブタの中で増えた日本脳炎ウイルスが蚊によって運ばれ、人に感染する。症状は高熱、嘔吐、意識障害などをおこし急性脳炎になる。予防接種は初回接種を一〜四週間隔で二回と、翌年の追加接種一回の計三回で基礎免疫ができる。その後は四〜五年毎に追加接種を受ける。

ツベルクリン反応・BCG(結核)

結核は菌をもっている人が咳やくしゃみなどをすることで感染し、最近、再び増加傾向にある病気。まずツベルクリン反応検査を行い四十八時間後に判定

をして陰性の場合(長径九ミリ以下)に九本の針がついたスタンブを上腕の二か所に押しつけて接種する。初回は四歳までにその後は小学一年、中学一年の時に接種していく。

三種混合(ジフテリア、百日咳、破傷風)

ジフテリアは空気を介して感染し、高熱、のどの痛み、犬吠様の咳などの症状が現れ、窒息死する可能性がある病気。百日咳も空気を介して感染し、咳がひどく、息を吸いこむ時に笛を吹くような音が出て肺炎や脳症をおこす病気。破傷風は土の中に菌がいて傷口などから人に感染し、口が開かなくなったり、けいれんをおこし死亡することもある病気。これらの三つの病気の予防のために1期初回接種を三〜八週間隔で三回、追加接種を初回接種三回終了後六カ月以上たってから一回接種する。

麻疹(はしか)

空気を介して感染し、その感染する力は強く、一生のうち一度は必ずかかる病気。発熱、咳、

発疹などの症状が出る。生後十二〜七十二カ月までに二回接種する。

麻疹

空気を介して感染し、発熱や発熱、目の充血などの症状が出る。妊婦が妊娠初期に麻疹にかかると「先天性麻疹症候群」と呼ばれる赤ちゃん(心奇形、白内障、聴力障害など)が生まれ



## あとながき

### 最後の入学式

平成十三年四月に、村内四つの小学校が統合することになり、四月に小学校で行われた入学式が各小学校にとっては、最後の入学式。太田小学校では入学生がゼロと新入生がいよいよ寂しい一年のスタートになりました。十二年度に行われる運動会などの学校行事も各小学校にとっては最後の行事になります。児童、生徒のみならず今年度の各小学校での最後の一年、明るく元気なこのびと学校生活を送って下さい。二〇〇一年四月、二十一世紀の幕あけとともに「市浦小学校」が皆さんを待っています。(三不)



る可能性がある。生後十二〜十六カ月までに二回接種する。

### お誕生

安田 菜由(十三) 裕幸  
工藤 竜生(相内) 孝徳

### ご結婚

(久米田) 仁和(板柳)  
(近藤) 雅美子(十三)  
(葛) 西孝生(脇元)  
(李) 秀娟(中国)

### おくやみ

大性 誠(相内) 73歳  
梶浦 徳一(十三) 78歳